



堀場製作所OB会

会報

通巻48号

発行日 令和2年11月30日

発行者 堀場製作所OB会

酒井 俊英

編集者 伊藤 哲

- ◆一泊研修旅行
・三重県鳥羽・伊勢方面

- ◆東京支部
・未病産業展見学

- ◆カルチャー教室報告
・パソコン教室

- ◆HOVC活動 ボランティア部会
・工房学習活動
・京都マラソン整理ボランティア
・鴨川クリーンハイクに参加して
・鴨川 外来植物駆除活動

- ◆レジャー例会
・京都市京セラ美術館見学

- ◆行事報告
・ブルーベリー摘み体験

- ◆クラブ活動報告
・山遊会
・カラオケクラブ
・ボウリングクラブ
・釣りクラブ

- ◆2020年会社ニュース ピックアップ

- ◆OB会だより
・堀場OB会ホームページ紹介
・幹事・監査体制
・新入会員紹介
・24期古希になられた方
・訃報
・年間行事計画について

- ◆編集後記



瀧尾神社（たきおじんじや）

J R・京阪電車の東福寺駅から徒歩2分程の地にある「瀧尾神社」は素晴らしい貴船神社奥院旧殿を移築した本殿と、全長8メートルにも及ぶ見事な龍の彫刻があり、この龍は天保十年（1839年）から翌十一年にかけ、大丸創業者の下村彦右衛門が整備した際に奉納された。制作は京都の彫刻師、九山新太郎の作品。下村家は熱心に参拝して成功したところから金運・仕事運のパワースポットとして知られている。2016年に祇園祭の大船鉦の龍頭に復元された際の参考になったそうだ。天保時代の大船鉦の龍は九山新太郎の父の「九山新之丞」の作品の可能性が高いそうだ。あいにく、現在、同社は改修工事中で、3年後に完成するとのこと。龍や、その他の動物や霊獣の彫刻はそれまでお預けのようだ。（酒井 俊英 記）

一泊研修旅行

三重県鳥羽・伊勢方面

2月14日（金）～15日（土）に一泊研修旅行としてエクシブ鳥羽アネックスに行きました。1日目は、外宮ーおかげ横丁すし久（昼食）ー内宮ー夫婦岩ーエクシブ鳥羽アネックス泊。2日目は、ミキモト真珠島ー鳥羽マルシェ（昼食）ー鳥羽展望台ー道の駅伊勢志摩と伊勢と鳥羽のコースを回りました。参加者は10人でした。京都駅に集合の後、10人乗りのレンタカーで出発しました。



外宮（豊受大神宮）では、千木（屋根の両端で交叉した部材）が外削（縦にカット）、鯉木（屋根の上に並べた部材）が奇数に対し、内宮（皇大神宮）では、千木が内削（横にカット）、鯉木が偶数と細かな部分が異なっている、との予備知識で行きました。両宮を参拝する際は、外宮→別宮→内宮→別宮がしきたりとされ、その順序で参詣しました。また、二拝二拍手一拝の作法に従いお参りました。



昼食はすし久で名物の、「てこね寿司」を頂きました。その後夫婦岩へ行き、エクシブ鳥羽アネックスで宿泊しました。エクシブは豪華な装飾がなされており、また窓からはすぐ海が眺められ、リッチな気分になりました。食事のあと、希望者のみカラオケ組、温泉組と別れ、それぞれに堪能しました。



2日目は、ミキモト真珠島で、海女の実演、パールプラザ、真珠博物館、御木本幸吉記念館を見て回りました。

海女の実演では冷たい海に飛び込む海女を見て、こちらまで寒さが伝わってきました。真珠博物館では真珠ができるまでの工程が説明され、生きた細胞を核と一緒にアコヤガイに埋め込むことが紹介されていました。

その後、鳥羽マルシェで昼食と買い物、道の駅伊勢志摩で買い物を行いました。少人数での和やかな雰囲気での研修旅行でした。

（三橋 泰夫 記）

東京支部

未病産業展見学(2020/1/29)

24期の東京支部の企画第1弾 未病産業展2020 ビックサイトへ行ってきました。

小型で、腕時計のように身に付け、日常簡単に体の11種類のデータを送り、30分おきにスマホへ計測データを送り、数値の傾向を察知して大きな病気を未然に防ぐシステムが現実になっていました。

また、他のブースでは、血圧を測るついでに、血管年齢、血管の状態を測定、その結果を専門家の方からアドバイスを受けることができました。血管年齢は33才でした。

また、NECのブースでは、歩行の状態をセンサーでスキャンしてその結果をグラフに表示していただきました。

うで振り、体の軸、歩く速さなど客観的に数値にして表してくれました。

その他、介護職の試食をいただいたり盛りだくさんの展示会でした。 (尾崎 克好 記)



カルチャー教室「パソコン教室」

★パソコン教室 (13) 電子マネー (2019/12/6)

第13回目に、paypayを行いました。キャッシュレス時代の到来としてクレジットカード、交通系カードと、〇〇ペイの違いを説明。そして本題のpaypayの特徴を説明した。

1. 〇〇ペイのランキング
2. paypayを使うには
3. paypayの登録までに
4. paypayアプリのインストール

paypayのセットアップのしかたについて説明し

た。今回初めて出席された方については、パソコン悩んでいる迷惑ソフトについて、削除方法の説明を実施した。

★パソコン教室 (14) 迷惑メール (1/24)

第14回目として、迷惑メールについて実施しました。誰もが時間をとられ、いやな思いをする迷惑メールの中で、Sl i mwareとwi nerx03について、その原因と対策(消し方)について実施しました。

(三橋 泰夫 記)

HOVC活動 ボランティア部会

工房学習活動

令和元年度モノづくり学習支援員「京（みやこ）モノレンジャー」教育長感謝状贈呈式

2020年2月3日（月）、教育委員会教育委員室にて令和元年度モノづくり学習支援員「京（みやこ）モノレンジャー」活動に対する感謝状贈呈式が執り行われました。今回はHOVC（堀場製作所 OB）から北川 光夫、笠川 重美、沢本 昌順の3名が選ばれ、京都市教育長 在田 正秀 様より感謝状を授与いただきました。

引き続き教育長よりご挨拶をいただいた後、感謝状をいただいた8名を代表して沢本よりご挨拶させていただき贈呈式は滞りなく終了（ホリバ3名以外は京セラOBの皆さん）。来賓の皆様との記念撮影を済ませてお開きとなり会場を後にしました。

「京（みやこ）モノレンジャー」の活動は、堀場雅夫最高顧問が創設に尽力され、初代館長も務められた「京都ものづくりの殿堂・いき方探求館」で実施されている「京都モノづくりの



殿堂・工房学習」に参加する小学生の支援が主な役割です。

次世代を担うであろう子達と、おもしろおかしく「モノづくり」や京都の代表的な企業の勉強をしながら社会貢献ができます。「京都の子は京都で育てる」。身近な社会貢献をしてみようとお考えの（特に若手の）OBメンバーは気軽にお問合せください。子達と一緒に豊かな未来へ向かって成長していきましょう。

（沢本 昌順 記）

京都マラソン整理ボランティア



今年で9回目となる京都マラソン2020が2月16日（日）に開催されました。堀場製作所OB会からも8名が運営ボランティアとして参加しました。

新型コロナ感染拡大の心配もありましたが、抽選で選ばれた国内外の市民ランナー15,000人余りが出走されました。OB会メンバーは昨年に引き続き、梅宮大社近くの四条通りを担当。

先頭の子椅子ランナーが通過、後を追うように溢れんばかりの市民ランナーの大集団が四条通を駆け抜けていきました。スタート間もないので、皆さんまだまだ元気です。

今年は生憎の雨模様となりましたが、沿道に集まられた周辺住民の皆さんと一緒にボランティアメンバーも大きな声と拍手でランナーの皆さんを精一杯応援しました。ボランティア活動に参加された皆様ご苦労様でした。

参加者（五十音順、敬称略）：伊藤、宇野、笠川、北川、酒井、沢本、中村（十）、中村（正）

（沢本 昌順 記）



鴨川クリーンハイクに参加して①



令和2年6月7日(日)、今年度第2回目の「鴨川を美しくする会」主催の鴨川定例クリーンハイクに、堀場OB会から北川光夫、石黒英憲の2名が参加しました。

第1回目は4月29日に開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染の影響で中止となっており、今年初めてのクリーンハイクの開催となりました。集合は午前10時に五条大橋西北詰、そこから丸太町橋西北詰めまで3km余りを約2時間かけてごみを拾いながらのハイキングです。今回は新型コロナウイルス対策のために、マスク着用、会場入りには手の消毒をすぐさま軍手をはめてから受付に入るなど、厳しく管理されていました。この重要性から、門川市長までが激励に来られ、また、大勢のボランティアスタッフにお世話になりながらの活動となりました。

日本郵便からは家族連れで50人ぐらいでの初参加がありました。晴天で暑くなるうえ、マスク着用のために、熱中症が心配されました。が、さわやかな川風があり、非常に過ごしやすい気候でした。最近、巣ごもり状態が続いていましたが、久しぶりに太陽の下に出かけられ、さわやかな気持ちでごみを集めることができました。

(石黒 英憲 記)

鴨川クリーンハイクに参加して②

堀場OB会「ボランティア部会」活動の一環として令和2年9月6日(日)に「鴨川を美しくする会」主催の今年度第3回「鴨川定例クリーンハイク」に参加しました。参加したのは、石黒英憲、中村十規人の2名で、午前10時前に鴨川丸太町橋右岸河川敷に集合しました。

当日は大型で非常に強い台風10号が九州を縦断しており天候が心配されましたが、空模様は曇り、なんとか雨も降らずにすみました。

当日の参加者は全体で約130名、主催者の挨拶や事務局の説明の後、「新型コロナウイルスの感染対策」で全員がマスクをし、「熱中症」にも注意しながら、清掃活動を実施する状況。我々堀場OB会の担当エリアは、鴨川左岸と川端通の間の歩道。終点の北大路橋を目指し、クリーンハイクを開始。最近の鴨川は綺麗でゴミも少ない状況ですが、それでもタバコの吸い殻や菓子類の包み紙、飲み物の空き缶等いろんなゴミを拾いました。

雨傘や自転車のチューブなどの大物も出てきました。北大路橋の終着点についたころには汗びっしょりとなっていましたが、鴨川の景色を楽しみ、健康に良い日を過ごすことができました。

(中村 十規人 記)



鴨川クリーンハイクに参加して③



堀場OB会「ボランティア部会」活動の一環として令和2年11月1日（日）に「鴨川を美しく

する会」主催の今年度第3回「鴨川定例クリーンハイク」に、岡田知二、笠川重美、平野彰弘の3名にて参加しました。午前10時前に北大路橋右岸河川敷に集合し、受付前に検温・消毒を行った後、清掃を行いました。

当日は快晴で、清掃活動していると汗ばむ陽気でした。「感染対策」のマスクがしんどいこともなく、担当エリア（北大路橋から上賀茂橋の右岸と左岸）を清掃完了。結構綺麗な状況でしたが、タバコの吸殻や菓子類の包紙などいろいろなゴミがありました。

各企業や団体に交じって個人での親子連れなども居られ、ほほえましい思いをしながらの清掃活動でした。

（平野 彰弘 記）

外来植物（オオバナミズキンバイ）駆除作業

9月27日（日）午前9時30分より、鴨川七条大橋左岸に集合して「オオバナミズキンバイ」の駆除作業に向けて、京都府の関係者は元より、多くのボランティアが参加して行われました。鴨川を美しくする会、京都つくば開成高等学校、国際ボランティア学生協会、XOクラスター（オムロンOB）等に交じって堀場製作所OB会（森山、酒井）から2名が参加。昨年到现在、今年で第2回目。今年は、新型コロナウイルス感染防止対策も有って、本来夏の初めに開催される予定が、9月末まで延期された。

先日の大雨で土砂を被ったこともあって、花が見えなく「オオバナミズキンバイ」の生育場所の特定が難しかった。作業も2つのグループに分かれて時間帯を別にして、密を避けるよう指示されてていました。しかし、最後の方は、皆さん1つになって、深い根の掘り起こしに熱が入ってました。メディアの取材も行われていましたが、この繁殖力の強い「オオバナミズキンバイ」の駆除には未だ関心が低い様です。

琵琶湖でも大きな問題になっていると聞いています。鴨川にもこの数年で増えてきています。日本の植物の生態系を守るために、関心をお寄せください。（酒井 俊英 記）



レジャー例会

京都市京セラ美術館見学

7月18日（土）レジャー例会として、京都市京セラ美術館（旧京都市美術館）に行きました。京セラ美術館は3月21日にリニューアルオープンしましたが、コロナの関係で、しばらく閉館が続いており、7月になりやっと団体予約ができるようになりました。また、レジャー例会も延期せざるを得なく、ようやく開催できるようになりました。今回の開催では、昼食場所の人数の関係もあり、2班に分け、

1班：250年の夢→杉本博司→食事→コレクション展

2班：コレクション展→250年の夢→杉本博司→食事という順路で見学することとしました。それぞれの展示テーマは、

①250年の夢（京都市京セラ美術館開館記念展「京都の美術 250年の夢」最初の一步、コレクションの原点）

京都市美術館の開館当時の展示と、その後の変遷の展示。

②コレクション展



京都市美術館で所蔵している作品の展示。

③杉本博司展

瑠璃の浄土の世界で、写真と浄土、また、屋外の日本庭園にも展示物がありました。

美術鑑賞という企画ですが、昭和初期の建築物の重厚さを見学したこと、

京都市の美術の原点を鑑賞できたこと、長梅雨明けの、久々に天候にも恵まれたことで、久々にレジャー会を実施したことによる達成感のあったレジャー会でした

参加人員は20人でした。（三橋 泰夫 記）

行事報告

ブルーベリー摘み取り体験



ブルーベリーの実は熟しているものだけを取獲するように、とのことでした。実際、熟しているものや、まだ色のうすい熟していないものがまじりあっていました。食事は卵かけごはん組3名、カレー組2名、どちらもブルーベリージュースがつき、おいしくいただきました。

参加者（敬称略）酒井、森山、石黒、水野、三橋

（三橋 泰夫 記）

当初7月22日に予定していましたが、ファームから、7月は雨が続き日照不足のため生育が遅れている旨の連絡がありました。

そのため、日程を2週間ずらし、8月5日に再募集することとなりました。8月5日はよく晴れていました。京都は最高気温を更新していましたが、ファームは心地よい風が吹き、暑いながらも収穫にはげみました。



クラブ報告

山遊会

〈第63回〉 例会山行

年月日 令和2年10月25日(日) 晴
山行先 京都一周トレイル・西山コース
松尾山(275.6m)
参加者 下川 和子・ 下川 博司・
宇野久二男・ 水野 和茂

令和2年度は新型コロナウイルス禍の影響から活動休止を余儀なくされたが、10月に入ってgo-toトラベル・go-toイートの政策が始動したのをきっかけに我々も活動再開。午前8時25分阪急上桂駅に集合し苔寺谷登山口へ向かう。午前9時身支度を整え標識No.51を出発。竹林の中、木の階段を上り急坂にとりつく。途中、標識No.45で小休止、風もなく抜けるような青空の下、久々の山歩きに気分上々。9時40分函根点ピーク(標識No.43)を通過、10時17分標識No.32の四つ辻に到着。時計回りに松尾山山頂(標識No.35)へ。ここで恒例の記念写真を撮り、再び四つ辻を経て急坂を下り11時15分松尾山登山口(標識No.26)に降りた。



ここから渡月橋を渡り総会・懇親会会場である「花のいえ」へ向かう。

今日一緒に登るはずであった橋口さんが前日歩きすぎてひざを痛めたとかで総会・懇親会のみ参加に変更。

また、中村さんは自宅から単独で西山コースを巡り、総会・懇親会に参加するとのこと。それぞれ11時30分前後に会場に合流、都合6名の参加となる。

取り敢えず風呂で山での汗を洗い流し、12時30分から第10回総会・懇親会を開催。

まずは風呂上がりのビールで乾杯、秋の特別企画「秋の味覚御膳」に舌鼓。疲れとおなかの落ち着いたところで、令和3年度の運営とOB会設立25周年記念山行について意見を交わした。なお、go-to

トラベルをうまく活用した企画についても検討することとし、良い計画があれば今年中に提案してもらうことに決まった。今回総会に出席されなかった会員各位も、良い企画があればご提案をお願いします。15時前和気あいあいのうちにお開きとし、庭先で記念撮影ののち散会した。

(下川 博司 記)

カラオケクラブ

2月22日【土】いつもの祇園【紬】にて賑やかに盛大に開催致しました。継続は力なりで25回を迎える事が出来ました。

関係者各位に対し感謝!多謝!。25回記念例会と言う事もあり、OB会員7名、特別参加者4名の総勢11名もの歌好きが集まって下さいました。25回のお礼と初参加者より自己紹介をして頂き恒例で石黒さんからスタートし、初参加者の大崎さん、野口さんも最初から熱唱。特別参加者で初参加の上澤さんが、歌い慣れた演歌で魅了すれば、吉井さんはAKB48、裕次郎得意の松本さん、大川さんはサザンを披露。

焼酎(麦)を楽しみマイペースの中村(正)

さん、特別参加者でオブジェ作家のこやまゆうこさん。この人が凄いパフォーマンスで激唱。気が付けば、終了時間をかなりオーバーし、楽しい時間に感謝!最後に、会のテーマソング《青春時代》を全員で歌い散会となりました。コロナ禍以前です。(小川 柁幸 記)



クラブ活動報告

ボウリングクラブ

1月例会 (1/11)最近好調の山田毅さんが3Gとも安定した好成績、グロス529・ネット595で1年ぶりの優勝です。2位には惜しくも5ピン差で芦谷さんが入りました。BBは山田昌美さん、前回優勝の毛利は最下位に沈みました。



2月例会報告 (2020/2/8土)

2月例会は平松尚武コーチが実力を遺憾なく発揮してハイゲーム235、アベ214、ハンデマイナス12でもネット606で優勝です。復調の永田さんがネット587で2位に入りました。



3月例会報告 (2020/3/14土)

3月例会はコロナ対策のため無観客試合で開催され、世話役の田中光子さんだけが見ていました。結果は、永田真寿夫選手が3G目の最後に6連続ストライクという驚異的な追い上げでハイゲーム228を叩きだし、ぶっちぎりの優勝です。2位には安定した山田昌美選手が入りました。

6月例会報告 (2020/6/13土)

祇園町にコロナ舞妓が現れたことは残念です。さて、4月・5月と例会は中止になり、3カ月ぶりの6月例会開催となりました。結果は堀場テクノサービスの長澤稷選手が安定したスコアでグロス554・ネット560で久々の優勝です。2位には同じく小林正和選手は8ピン差で入りました。数カ月にわたり、足の故障で欠場していた田中光子さんがカムバックしてBB賞に入りました。



ボウリングクラブ 続き

7月例会報告 (2020/7/11土)

7月例会は平松コーチが実力を発揮して3ゲーム625点、ハンデを引いても大差の優勝です。

最年長山田昌美さんが練習の成果で2位に入りました。

今回のベストは181点ですが、練習では200アップもあるそうです。

久々に参加の永井博さんがBB賞、同期の入社の毛利が絶不調で自己ワースト記録で最下位に沈みました。

8月例会報告 (2020/8/8土)

8月例会も涼しい会場で12名が参加して楽しく過ごしました。

優勝はテクノサービス現役の小林正和さんです。

プロも苦しむレーンでハイゲーム243点、トータル617点はお見事です。

2位には157・187・167と安定したスコアで山田昌美さんが入りました。

練習の成果が捻り、2ヵ月連続の準優勝は立派です。

次回は公式戦での200アップ達成と優勝が期待されます。

BB賞は初参加の大友ゆり子さんでした。

9月例会報告 (2020/9/12土)

堀場製作所OB会オープンボウリングカップ9月12日試合結果です。

前回から参加の〇〇さん(永田さん親戚)が自己新記録達成で初優勝です。

ビギナーですが、威力のあるボールを投げます。

2位には、準パーフェクトの277を出した中岸潤一プロです。

BBは前回の覇者小林さんで、期待の山田昌美も不調でした。

スポーツの秋・ビールの秋です。

またボウリングやりませんか?お待ちしております。

ハンデがあるので、誰にも優勝のチャンスがあります。

(毛利 隆文 記)



釣りクラブ

自粛要請の解除後の5月30日に中村、加藤、調子の三名はホリバ釣りクラブメンバー2名と東舞鶴港から今年初めての沖釣りをエンジョイしました。潮が動かず海の状況は今一つでしたが、各自20尾前後の釣果を得ることができました。好天の広い海原で長期の外出自粛規制で溜まったストレスを解消できたことが何よりでした。

(調子 均 記)



2020年会社ニュースピックアップ

◆新型コロナウイルス感染症の抗体検査チップシステム開発に参画

～産業技術総合研究所との共同開発を推進～

HORIBAは新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の対策として、国立研究開発法人産業技術総合研究所（以下、産総研）が代表機関として進める、簡便・迅速な抗体検査チップシステムの開発に参画しています。

プロジェクトは、令和2年度補正予算事業「ウイルス等感染症対策技術の開発」において、緊急性が高く、かつ早急に取り組むべき課題として、経済産業省と国立研究開発法人日本医療研究開発機構が支援する「新型コロナウイルスの信頼性の高い迅速診断システムの開発」の一環

として実施されるものです。（代表機関：産総研／分担機関：HORIBA並びに株式会社ビズジーン）

新型コロナウイルスへの感染度合いを調べる抗体検査においては、簡便かつ迅速に精度の高い検査ができる手法の確立が求められています。高品質な製品を安定供給する分析・計測機器メーカーとしての特長を活かして、早期の開発実現に取り組みます。

さらに、産総研ならびに株式会社ビズジーンと連携し、専門知識を持たない操作者でも、検体を滴下したチップを用いるだけで結果を知ることができる、全自動タイプの測定装置としての上市をめざしています。

◆～京都企業の歴史を変える一歩へ～

島津製作所と「LCラマン」の共同開発を提携

8月3日、株式会社島津製作所（以下、島津製作所）との共同記者会見を開き、島津製作所の高速液体クロマトグラフ（以下、LC）とHORIBAのラマン分光装置を融合させた計測機器「LCラマン」の開発および販売における協業基本契約の締結を発表しました。

京都企業の歴史を変える一歩に向けて、社外からも大きな注目を集めています。

非破壊・非接触で対象物の成分分析や分子構造解析ができるラマン分光。混合物を分離し、そこに含まれる成分の量を調べたり、特定の成分だけを抽出したりすることのできるLC。HORIBA、島津製作所ともにそれぞれ日本国内でトップシェア（両社調べ）を獲得しています。

両社の強力な技術を融合させることで実現をめざす「LCラマン」は、LCが効率的に混合試料中の成分を分離し、続いてラマン分光装置がLCによって分離された化合物の定性・定量計測を行います。実用化に向けては、LC、ラマン双方をつなぐ統合ソフトウェアも共同開発することで、試料の導入から分析までシームレスな運用を実現します。

これにより、ライフサイエンス領域における生体分析や新薬開発、マテリアル領域における最先端材料研究、新規材料探索といったことに独創的なソリューションを提供し、人々の健康や安全と環境への取り組みに貢献していきます。



島津製作所 上田社長（左）とアダチさん

島津製作所・上田社長がびわこ工場にご来社。ホリバリアンに向けたご講演を実施

共同会見の興奮も冷めやらぬなか、8月5日には上田社長と島津製作所の皆様がびわこ工場にご来社され、工場見学の際には、アダチさん自らが熱心に説明される場面もありました。見学後の上田社長によるご講演では、オンラインを含めて約400名のホリバリアンが聴講し、島津製作所の歴史や企業文化から事業、そして未来に向けた挑戦に至るまで、幅広くお話をいただきました。「科学技術で社会に貢献する」という社是を体現し、どのようなことにも真摯に取り組むことでお客様の願いに応え続けてきた上田社長のご功績とお人柄に感銘を受けた講演会となりました。

OB会だより

－ 堀場OB会ホームページ紹介 －

堀場OB会のホームページは総会、幹事会、キャリア活動、クラブ活動をはじめ各種の行事案内、活動報告を掲載しています。より魅力あるホームページにするために会員からのご意見、ご提案をお寄せ下さい。

◆ホームページアドレス

<http://horiba-ob.com>

◆堀場OB会メールアドレス

horiba.ob@gmail.com

－ 幹事・監査体制 －

代表幹事	酒井 俊英
副代表幹事	小川 柁幸
幹事	伊藤 哲、岡田 知二(新任)、 尾崎 克好(東京)、笠川 重美、 沢本 昌順、平野 彰弘(会計)、 三橋 泰夫、森山 晶成、 安田 世津子(副会計)
監査	湯浅 一郎、和田 晃一(会社)
退任幹事	中村 十規人
退任監査	中井 眞啓(会社)

－ 新入会員紹介 (敬称略)－ 第24期以降新入会された会員を紹介します。

宮下 裕安、坂井 夕美、森 久美、天野 秀昭、伊串 達夫、杉浦 和春、中村 健志、船戸 義彦
山内 進、吉岡 伸樹、内原 博、宇野 敏彦、浅井 博之、石原 正昭、大西 佳郎、
岡本 一隆、佐藤 義通、谷口 勝彦、中田 靖、藤原 雅彦、古澤 幸之、山中 啓史
横浜 正樹、石川 達夫

－ 24期古希になられた方(敬称略)－ おめでとうございます。

北村 幸子、勢藤 源史郎、加藤 順三、吉永 秀、植松 正晴、稲口 芳春、杉山 頼道、松木 雄三
徳田 眞三、井入 誠一、山岸 豊、宮崎 芳雄、川尻 茂樹、新井 章生、北村 忠夫、福嶋 良助
吉良 昭道、北川 光夫、鶴崎 一誠

－ 訃報－ 謹んでお悔やみ申し上げます。

東山 崇様、小谷 昌夫 様、船越 健様、西尾 勝治様 がご逝去されました。

－ 年間行事計画について－

年間OB会行事についてはホームページに「年間行事予定表」を公開していますが、会員の皆様に参加いただく行事を紹介します。

- 鴨川を美しくする会
 - ・ 鴨川クリーンハイク (年間5～6回)
 - ・ 鴨川茶店 (4月予定)
 - ・ 鴨川納涼 (8月予定)
- 桂川クリーンハイク (3月予定)
- 工房学習支援 (年間：7～8回の予定)

- 祇園祭ボランティア (7月予定)
- 研修旅行 (2月予定) 東京支部 (5月)
- 春の懇親会 (4月予定)
- 夏の懇親会 (9月予定)
- 東京支部幹部懇談会 (9月予定)
- レジャー例会 (11月、6月予定)

開催日が決定した行事についてはホームページまたはメールにて紹介させていただきますので参加いただくようお願い致します。

編集後記

2020年は東京オリンピック・パラリンピックで、賑やかになるはずだった。新型コロナウイルス感染が広がるまでは。外出が制限され、自由に行動できることや社会とのつながりがこれほど人にとって大切なことと感じさせられたことはあり

ません。新しい様式での社会活動で社会は動きだしており、会員皆様の活動を紹介できることはうれしいことです。情報技術が発達し、リモート会議など浸透しています。シニア層に必要な社会活動のサポートが求められています。(編集者代表)